

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 34号

2013/01/28 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：＄1500 に到達せずに反発し、＄1400 に向けて下落トレンドへ

①週最高：LDN 市場＄1,483 / NY 市場\$2,215 (1/21、1/23 日) 先週比 **LDN - 6/NY - 85**
②週最低：LDN 市場＄1,417 / NY 市場\$2,173 (共に 1 月 25 日) 先週比 **LDN - 634/NY - 83**
週内差額 (①-②)：LDN 市場＄66 / NY 市場 42

【1月21日(月)】ロンドンほぼ変わらず。NYは休場

ロンドン市場は、一時4週間ぶり高値を付けたものの、ほぼ変わらずで引けた。ニューヨーク市場はキング牧師誕生日で休場。ロンドン市場の3月きりは、**1483ポンド**、5月きりは1ポンド安の1480ポンドで引けた。一時は2番ぎりとして先週付けた4週間ぶり高値と同水準の1490ポンドまで値を上げた。

【1月22日(火)】両市場とも大きく下落。

ロンドン市場の3月きりは1443ポンド、5月きりは32ポンド(2.2%)安の1448ポンドで引けた。祝日明けのニューヨーク市場の3月きりは72ドル(3.2%)安の2213ドルで終了、下落率は3カ月ぶりの大きさだった。前週末18日には1カ月ぶり高値を付けた。

利食い売りが相場を押し下げたほか、ロイター通信の調査結果で、十分な供給により第1四半期の価格が引き続き圧迫されるとの見通しが示されたことが背景。

【1月23日(水)】ロンドン、ニューヨークとも両市場とも小反落。

ココア先物は反発。ニューヨーク市場の3月きりは、2ドル(0.09%)高の**2215ドル**と小反発で引けた。

ロイター通信の市場アナリスト、ワン・タオ氏によると、3月きりは2202ドルの支持線を試す可能性があり、これを割り込むと2119ドルが視野に入る。ロンドン市場の3月きりは1447、5月きりも、5ポンド高の1453ポンドと小反発で引けた。

【1月24日（木）】両市場とも反落

西アフリカ諸国の供給見通し改善を背景に両市場ともに反落した。

ニューヨーク市場の3月きりは20ドル安の2195ドル、ロンドン市場の3月きりは1438ポンド、5月きりは7ポンド安の1446ポンドで引けた。ディーラーらは、ヒストリカルチャートから見れば、ロンドンはニューヨークよりも堅調に推移する方向を示していると指摘。一方で、両市場ともに、1年間にわたり取引されてきた長期的なレンジ内での値動きにとどまっているとの分析を示した。

【1月25日（金）】両市場ともに続落。

ニューヨーク市場の3月きりは、一時2165ドルと、期近物としては昨年7月17日以来6か月ぶりの安値まで下落した。最大生産地の西アフリカの供給増やテクニカル的に弱い地合いで、投機筋による売りが加速したことが背景。終値は22ドル（1%）安の**2173ドル**。

ロンドン市場の5月きりは19ポンド（1.31%）安の1427ポンドで引けた。3月きりは**1417ポンド**で安い。

2、アジアのカカオ磨砕高、12年第4四半期は前年比2.8%増＝業界団体（1/22）

アジア・ココア協会（CAA）は22日ウェブサイトで、2012年第4四半期のアジア地域全体のカカオ豆圧砕高が15万5237トンとなり、前年同期（15万0972トン）比2.8%増加したと発表した。一方、12年第4四半期の欧州のカカオ豆圧砕高は前年同期比6.2%減の32万7982トンだった。

3、アジア市場：ココアバターは約4年ぶりの高いレシオで取引、パウダーは低調(1/25)

- ・ココアバターレシオは1.98で取引 Butter ratios trade as high as 1.98 times
- ・ココアパウダーの価格は\$2500-\$3,000/トンで案内

欧州のチョコレート製造会社が今週2009年以来の高いココアバターレシオ水準にも関わらず、いくつかのココアバターの買付けを行ったが、ある磨砕業者は顧客の興味を引く為のココアパウダーの価格を値下げしているとアジアのカカオディーラー筋から報告があった。

欧州市場でのカカオ豆磨砕数量の落ち込みを受けて、チョコレート製造会社はアジアの磨砕会社から供給に目を向けており、ココアバターの需要は高級チョコレートの需要と、バレンタインデーとイースター向けの需要を背景に高いレシオでの取引が続いている。

チョコレート製造会社は、1年以上前のココアバターの在庫を全て使い果たした後、再度カカオ豆の在庫を補充し始めるであろう。

“アジア産ココアバターの直近のレシオは1.95 - 1.98だが、ココアパウダーの動きは遅いので、パウダーの価格は需要により変わりやすい” シンガポールのディーラーは説明する、またこのディーラーはココアパウダーは\$3000/トンで顧客に価格を案内した。

他の2人のディーラーは、先週の価格が1.90レシオであったことを考慮して、ロンドン先物市場に対して1.90~1.94レシオで価格を案内した。しかし、通常、バターとパウダーは反対方向の価格に動く為、

高く維持されているバターのレシオはその分、ココアパウダーの価格に転嫁される。

現在のココアバターのレシオは 2009 年の 4 月に大よそ 2.0 レシオまで上昇した時と同じレベルにある。昨年 1 月には、レシオはたった 1.05 であった。

“私は、レシオは 1, 93 から 1.94 までは上昇するべきだと思うし、既にパウダーの価格が下落しているのでバターは上がっていくはずだ” また別のシンガポールのディーラーは言う。また彼は今週ココアパウダーの価格を \$2500/トンで案内した。“まだ多くのココアバターの引き合いを受けるが、今週は成約はしなかった”

いくつかのディーラーは今週 \$2800-\$3000/トンでココアパウダーを案内した。

マレーシアのディーラーは “ココアバターは 1.90 なら他のディーラーに販売出来るよ。実際欧州のバイヤーにはそのレベルで販売した。パウダーは \$2800/トンで取引があったが、数量はわずかだった。また、アジア市場からの引き合いもまだ残っている “と話している。

来週の展開

ディーラーは来週も欧州のバイヤーからの買付けが安定している影響で、ココアバターの価格は高値安定だろうと予測している。

“リンツ社の様ないくつかのチョコレート企業が販売数量に関する良い数値のレポートを発表している” マレーシアのディーラーは言う。

4、調査：チョコメーカーは徐々にカカオ原料調達を再開し、磨砕数量も増加予測(1/22)

世界的なカカオ豆の供給は 9 月までに不足する見込みと予測され始めているものの、カカオの価格は現状のレベルからは直ぐには回復しない見込みで、ロンドン市場は 1450 ポンド付近、NY 市場は 2300 ドル付近で今後数カ月は推移しそうだ。

“減少しているココアバター在庫の積み増し分の必要と、アジア市場からのココアパウダーの需要の回復がそろえば、カカオ豆を再び磨砕する必要性が増加してくるだろう” フロリダのファイナンスアドバイザーは予測している。

“今はココアバターの供給が少ない、現在不足している分のココアバターを供給する為の磨砕需要が終わった後に、更にココアバターの在庫を積み増す必要が出てくるであろう”

アジア市場からのココアパウダーの需要が拡大したことにより 2010/2011 シーズンに多かったカカオ豆磨砕数量は 2011/2012 シーズンではチョコレートメーカーが沢山のココアバターを使用するだけの供給量を残した。

これは結果として、北米や欧州のチョコレートメーカーがカカオ豆を磨砕するよりむしろココアバターだけを購入する為には非常に都合のよい状態となっていた。

今、多くのカカオ、チョコレート市場関係者は 2012/2013 年シーズンはカカオ原料の再度在庫が必要となる時期が到来しており、世界全体の磨砕数量は 2-2.5%の上昇が見込まれると予測している。

需要の変化は 2012 年の最後の 3 カ月（第 4 四半期）に丁度曲がり角に差し掛かっており、北米市場では約 1%の上昇となり、欧州市場での減少のペースは明らかに穏やかになった。
通年では北米市場の磨砕数量は欧州市場よりは 10%以上も良い数値ではあるが、約 4%の減少であった。

今までは、中間所得者層が急増しチョコレート味のビスケットのようなココアバターよりもパウダーをより使用する製品を食べる傾向にあり、急成長しているアジア市場の需要が欧米の弱い市場を丁度相殺している状況である。

アジア最大の磨砕可能数量のマレーシアは 2012 年全体の磨砕数量は前年とほぼ変わらなかった。

あるアナリストによれば“チョコレート製品側の需要が特別強くなるという感じはなく、パウダーを使った製品側の需要がより良い動きを見せるだろう。”と予測している。

世界的には供給不足傾向

当初の調査では 2012/2013 シーズンは 20,000 トンの供給余剰であると予測されていたが、次にアナリスト達は、25,000 トン~150,000 トンの幅で今年のクロップは供給不足となると予測した。現在の所、全体の中間的な予測数値としては 10,000 トンの供給不足となっている。

この供給不足予測は 2011/2012 シーズンが 90,000 トンの僅かな供給余剰であったとなった後に、ICCO が 11 月に発表した。

世界最大のカカオ生産国のコートジの 2012/2013 シーズンの生産数量は 140.5 万トンと予測されており、中間の予測値として 125 万トン~156 万トンであろうとされている。ICCO の予測値では前シーズンの 2011/2012 シーズンは 141 万トンであったと見積もられている。

今月の初め、コートジのコーヒー&ココア評議会の責任者は前シーズンの生産数量 148.6 万トンに対して、今シーズンは古い農園への再投資が不足している影響で、128.9 万トンの生産数量になるだろうと予測している。

世界第 2 位のカカオ生産国であるガーナでは、今シーズンの生産数量の予測数値としては中間地点で 80 万トン、レンジとしては 68 万トンから 93 万トンの範囲と予測されている。前シーズンの 2011/2012 シーズンの ICCO の予測値としては 86 万トンである。

短期的視点では、この状況は価格を上昇させるとは思われない。第 1 四半期までの NY 市場のカカオ価格は \$2300/トン前後で安定するだろうと見込まれているが、2013 年の終わりまでには、2012 年の年末の価格比で 12%上昇となる 2500 ドル/トンとなるだろうと予測されている。

ロンドン市場では、第1四半期までは1450ポンド付近の展開と予測されているが、2013年の年末までには2012年の年末時の価格と比較し11%上昇となる1,600ポンド/トンまで上昇するであろうと分析されている。

5、ブラジルカカオ豆着荷数量 前年対比で23%増加 (1/23)

2012年5月1日から2013年1月20日までのブラジルの各カカオ生産地区からと輸入されたカカオ豆の着荷合計数量が前年同時期対比で24%増加となったことがバイア商業組合の発表したデータで判明した。

ブラジルカカオの主要な産地であるバイア州に住むココアアナリストのThomas Hartmann氏は『沢山の雨が先週には生産地域にもどってきた。そのおかげでミッドクロップでの主要な被害のリスクが避けられた』と解説した。

バイア商業組合のデータによると、ココアの輸出数量は、主にココアパウダー、バター、リカーで、僅かにカカオ豆があるが、カカオ豆ベースで64,125トンとなり前年同時期の73,291トンと比較して14%の減少になった。

ブラジルは1990年代の初期までは世界第2位のカカオ生産国であったが、天狗巣病で国全体のカカオ農園を荒廃させ、収穫数量が急激に減退した。

現在、ブラジルは2012/2013のメインクロップの収穫の最中である。

2012/13 着荷数量 5月1日～1月20日 単位：60kg袋

| | 先週 | 合計 |
|------------|--------|-----------|
| バイア州 | 66,871 | 2,550,571 |
| その他の州 | 6,191 | 885,937 |
| その他の国 | 0 | 284,599 |
| Total (袋) | 73,062 | 3,721,107 |
| Total (トン) | 4,384 | 223,266 |

2012/13 着荷数量 5月1日～1月20日 単位：60kg袋

| | 週間 | 合計 |
|------------|--------|-----------|
| バイア州 | 24,020 | 1,958,882 |
| その他の州 | 17,432 | 628,982 |
| その他の国 | 0 | 414,010 |
| Total (袋) | 41,452 | 3,001,874 |
| Total (トン) | 2,487 | 180,112 |

参考資料：シングルオリジンカカオの主要な産地、地区（別添）*自主作成資料

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp